

昭和54年度 和歌山県文化功労賞

さい た たけ お
齋 田 武 夫

住 所：和歌山県和歌山市

生 年：明治44年

◎業績及び経歴

昭和4年、海草中学校卒業後、川端画学校に学び、林重義、清水登之各氏に師事される。昭和6年、第1回独立展に入選。昭和16年同展に初入賞、独立賞を受けられた。

氏は、日本出版文化協会文化局に数年勤務されたのを除き、ほとんど和歌山に在住され、修徳高等女学校、県立医科大学の講師をされた数年はあるが、その総てを画業のみに専念されてきた。

昭和20年には青甲会を結成。現在そのほとんどの会員は県展審査員等の要職にある。

昭和23年、独立美術協会会員となり、紀元2600年奉祝展や朝日総合美術展、毎日現代美術展等に招待出品されたほか、大阪梅田画廊をはじめ、各地で個展を開催されてきた。

現在、和歌山県美術家協会会長、独立美術協会会員、関西独立会会員、全関西洋画展審査員を務められている。

代表作には、「南の女」「ノルマンディー」などがあり、作風は牧歌的でロマンに満ちている。